

川越時間旅行 73

市立博物館 2022・5399

三芳野天神縁起

三芳野天神縁起は、三芳野神社の創建から遷宮式までの経緯を、伝説と史実を織り交ぜながら描いた絵巻です。極彩色な大和絵と流麗な仮名交じりの詞書で構成され、全九段からなっています。絵はその画風から、狩野派の絵師・勝田沖之丞が描いたと推定されています。沖之丞の来歴は不明ですが、優れた技量を持った絵師として知られています。また、この絵巻の巻末からは、儒学者の林羅山(1583〜1657)が詞書を選文したと、川越藩主・松平信綱(1596〜1662)が奉納したことが分かります。絵巻を納める内箱は、金梨地蒔絵の仕立てで、表に銀泥で銘が記されています。このように、この絵巻は奉納者が時の老中で川越藩主の松平信綱であること、絵巻そのものがとても優れた作品で、装丁も藩主奉納品にふさわしい体裁に整えられていること等から、三芳野神社を代表する社宝と言えます。

現在博物館で開催中の収蔵品展「三芳野神社とその社宝」では、全九段からなるこの絵巻の全ての場面を、順次入れ替えながら公開しています。県指定文化財にもなっている貴重なこの絵巻を、ぜひご覧ください。



■収蔵品展「三芳野神社とその社宝」
期間：5月13日(日)まで 経費：入館料

イチゴ



「お客様の笑顔が一番のやりがいです」と話すのは、「ぶどうと苺の沼田園」を営む沼田敏明さん(的場)。沼田さんはハウス内に、通常の棚の他に子ども用の低い棚を設置するなど、小さな子どもからお年寄りまで、イチゴの摘み取り体験が楽しめる農園づくりを目指しています。



「おいしいイチゴを育てるには、温度と湿度の管理が重要です」と沼田さん。センサーを使いながら、暖房や換気、散水を行い、ハ

ウス内を常に25℃に保っています。また、株の根に沿うようにチューブを入れ、手で土の湿り具合を確認しながら水や液肥を供給し、株の成長を促しています。こうして手間暇かけて育てたイチゴの花が開いて、ミツバチが花粉を運ぶと、真っ赤な果実が実ります。



沼田園では、5月末までイチゴの摘み取り体験を楽しめるそうです。春の暖かい陽気の中で、取れたての新鮮なイチゴを味わってみませんか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜
イチゴ、ダイコン、カブ、ホウレンソウ、トマト、キュウリ、コマツナ、ネギ、キャベツ、ミズナ、レタス

戸川越の新名所。ぜひ、出掛けてみてはいかがでしょうか。

光客も楽しめる、小江

外からの観

ろん、国内

の方はもち

した。市民

とができる

も楽しめる」等の声を聞くこ

どもあるので、子ども連れで

つくり「ソフトクリームな

いろいろな種類のお酒があつてび

した。訪れた方からは「いろ

びつたりのお酒を探していま

しようか迷いながら、自分

蛇の列が。どの日本酒を試飲

鏡開きの様子



鏡開きの様子

や鏡開き等

が行われま

した。開店

と同時に多

くの方が訪

れ、試飲機

の前には長

の列が。ど

しようか迷

びつたりのお酒を探していま

した。訪れた方からは「いろ

いろいろな種類のお酒があつてび

つくり「ソフトクリームな

どもあるので、子ども連れで

も楽しめる」等の声を聞くこ

とができる

した。市民

の方はもち

ろん、国内

外からの観

光客も楽し

める、小江

戸川越の新名所。ぜひ、出掛けてみては



3月10日、リニューアルオープンした小江戸蔵の昭和蔵「きざぎざ処」。記念式典では、テープカット

編集後記
どんぐり

広報川越1412

■発行日／平成30年4月10日(毎月10日・25日発行)

■発行／川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171

■編集／広報室

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。

リサイクル適性(A)

Fontworks
UDFont

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
☎224-5495 ☎225-2171